

第 3 回 厚生文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和 8 年 5 月 19 日	会場	第 1 委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、今村芳彦、東千春、高野美枝子、倉澤宏、佐藤靖、谷聡、近藤友美				
委員外議員					
欠席委員					

【名寄市立大学】

1. 大学の現況

- ・ 教職員数：教員 83 名（教授・講師が増員）、事務職員 48 名（法人化準備で増員）。
- ・ 学生数：定員 760 名に対し在籍 780 名。
- ・ 入学・志願状況：4 学科すべて定員充足（198 名）。総合型選抜の導入が奏功。
- ・ 出身地：道内 77.8%、道外 22.2%。旭川・札幌・帯広が多く、東北、中部・北陸からの流入も増加。
- ・ 卒業生の就職状況：就職率 98.3%。名寄市内就職者 15 名（看護師・保育士・管理栄養士など）。
- ・ 国家試験結果：看護師・保健師は 100%、管理栄養士は全国平均を上回る。社会福祉士・精神保健福祉士は前年より低下。

2. コミュニティケア教育研究センター

- ・ 教育活動：対象別セミナー 2 回、公開講座 3 回。
- ・ 研究活動：地域課題研究 8 件を採択（総額 161.9 万円）。
- ・ 子ども支援プロジェクト：子ども食堂・学習支援・居場所づくりを学生主体で 4 回実施。
- ・ ボランティア支援：依頼 45 件、学生参加延べ 291 名。
- ・ 産学官連携：レシピ開発、フレイル予防イベント、イオン名寄店での学生企画販売など。
- ・ 国際交流：ネパール・スリランカ研修受入、韓国・モンゴル・タイ等への学生派遣。

3. 大学機関別認証評価

- ・ 結果：適合。ただし「改善要する 2 項目」「進展望まれる 9 項目」。
- ・ 対応方針：次期評価に向けた改善計画を進行中。

4. 大学院設置準備

- ・ 対象学科：栄養学科が先行。
- ・ 進捗：基本構想を教授会で報告、学内体制を整備。

- ・ 目標時期：令和 9 年 1 月申請 → 令和 10 年 4 月開学を想定。

質疑

問．大学院の設置時期はいつを想定しているか。

答 令和 9 年 1 月に文科省へ申請、令和 10 年 4 月開学を目指して準備中。

【市立総合病院】

1. 診療費の債権放棄

- ・ 内容：破産・死亡等で回収不能となった 6 件（21 万 3,593 円）。
- ・ 根拠：市債権管理条例に基づく。

2. 感染症対策の緩和

- ・ 面会ルール：予約不要、時間延長（14～19 時）、中学生以下も条件付きで可。
- ・ マスク着用：来院者・職員とも個人判断へ（流行期は依頼）。
- ・ 消毒：玄関のアルコールは撤去。

3. 新ドック「午後さくっとドック」

- ・ 特徴：午後実施、短時間、バリウムなし。
- ・ 対象メリット：国保加入者は補助で大幅減額。
- ・ 追加：動脈硬化ドック、オプション拡充。

4. 病院機能評価（6 回目認定）

- ・ 評価：S・A 評価が 81%。救急・精神科で S 評価。
- ・ 強み：
 - 「断らない医療」体制
 - 小児科 24 時間
 - 精神科の訪問看護・多職種連携

問 評価となった項目（患者中心の医療、良質な医療、組織運営）の具体的内容は。

答 文書管理・個人情報管理・診療情報管理など事務面の仕組みが B 評価。医療サービス向上の取組、新規医療技術導入など診療面でも B 評価の項目がある。B は「標準レベル」であり、C のような改善指摘ではない。

問 医師・看護師不足が評価に影響していないか。

答 人材不足は全国的課題だが、今回の評価で直接的なマイナス要因とはされていない。

・ その他

問 ナフサ不足の影響は

答 現時点で軽微だが、価格上昇への対応が必要。

【健康福祉部】

1. 各種計画の策定

- ・ 地域福祉計画（第4期）：令和9～13年度。総合計画の下位計画。
- ・ 障がい福祉実施計画（第8期）／障がい児計画（第2期）：令和9～11年度。
- ・ 高齢者保健医療福祉計画・介護保険事業計画（第10期）：令和9～11年度。

2. 当面の行事（社会福祉課）

- ・ 戦没者追悼式：7月10日（金）市民文化センター。
- ・ 平和の集い（旧：平和音楽大行進）：屋内開催へ変更（安全確保のため）。

3. 保健センター

- ・ なよろ健康まつり：8月1日（土）イオン名寄。
- ・ RSウイルス母子免疫ワクチン助成：妊娠28～36週、自己負担ゼロ（市内医療機関）

4. こども未来課

- ・ 物価高対応子育て応援手当：0～18歳に2万円、3,216名へ支給。
- ・ 乳児等通園支援（こども誰でも通園制度）：4月申請開始、5月受入開始。申請10名。
- ・ 学生向け保育施設見学ツアー：市立大学1年生対象、8月12日実施予定。

5. 高齢者支援課

- ・ 長寿を祝う会：9月開催予定（EN-RAYホール）。
- ・ 生きがい作品展：同時期に市民文化センターで開催。

6. 地域包括支援センター

- ・ フレイル予防講演会：10月開催予定。
- ・ 介護予防教室：継続実施。

【市民部】

1. 国民健康保険特別会計決算見込み

歳入 24億5,439万円、歳出 24億3,846万円。

形式収支は+1,592万9千円（翌年度へ繰越）。

実質単年度収支は +14万5千円 と、ほぼ均衡であり財政の余裕はほとんどない状況

2. 医療費適正化

- ・ ジェネリック医薬品使用率：92.1%

- ・ 特定健診受診率：38.7%（目標 60%）
- ・ 年 6 回の医療費通知で意識啓発。
- ・ 各種検診・ドック助成を継続。
- ・ 医療講演会を 11 月に実施予定

3. マイナンバーカード

■ 保有率

79.8%（全国 82.1%とほぼ同水準）

■ 臨時窓口

令和 7 年度：12 回（103 件）

令和 8 年度：16 回予定（繁忙期は月 2 回）

4. 交通安全・高齢者支援

■ 免許返納支援

- ・ 返納者に Yoroca ポイント 1 万ポイント。
- ・ 令和 6～7 年度の申請者：232 名（うち 70 歳以上 208 名）。
- ・ 令和 8 年度は 4 月 22 日時点で 10 名。

■ ヘルメット購入支援

- ・ 購入者に 2,000 ポイント。
- ・ 令和 7 年度：141 名（オンライン 69 名、20 歳未満 56 名）
- ・ 令和 8 年度：16 名（4 月 22 日まで）

問 学校や外郭団体との連携は。関連して自転車での青切符のルール適用があったが状況は。

答 市内小中学校での安全教室や、民間レベルでの取り組みが交通安全運動推進委員会でも進んでいる。青切符の件ではルール周知や啓発などに取り組む。

5. 名寄市合同墓

- ・ 令和 3～7 年度の累計：件数 255 件、骨数 585 柱
- ・ 年度ごとに安定した利用が続く。

6. 各種計画の策定

■ 策定中の 3 計画 いずれも令和 8 年中の策定を目指している

- ・ 第 12 次交通安全計画
- ・ 第 4 次男女共同参画推進計画
- ・ 第 3 次空家等対策計画

7. ごみ処理・分別区分変更（令和 9 年 4 月～）

- ・ 新中間処理施設「エコスピカ」が令和 9 年 4 月稼働予定であり、これに伴い 分別区分が大幅に変更。

・ 説明会の開催

- ・ 市民向け：10 会場
- ・ 事業者向け：3 会場
- ・ 6～7 月に集中的に開催。

問 新たな指定ごみ袋の積算根拠は。

答 ごみの総処理経費を見込み、排出者負担を 25%として算定した。

問 小型家電に利用されている充電電池の収集があるが安全性の確保は。

答 発火、爆発の危険性があり、パッカー車に投入ではなく別積みで収集し安全性を確保したい。

問 介護世帯と子育て世代への支援として指定ごみ袋の配布をしているが、新たなごみ袋となった場合はどのように対応されるのか。

答 福祉部署で検討していると聞いている。

8. 環境衛生推進員協議会の解散

- ・ 区分変更によるニーズの低下や活動機会の減少、担い手不足などから解散する

9. コンビニ収納・スマホ決済

- ・ 税目別利用状況を報告。
- ・ 現年収納分：108.20%（件数）／109.30%（金額）

10. 一般廃棄物中間処理施設「エコスピカ」

■ 進捗

- ・ 令和 8 年 4 月末時点：進捗率 62.36%
- ・ 外壁・配管・電気設備・煙突など主要工事が進行。

■ 今後の予定

- ・ 令和 8 年 11 月：議会見学会
- ・ 令和 8 年 12 月：住民見学会
- ・ 令和 9 年 1 月：試運転
- ・ 令和 9 年 4 月：供用開始

【教育部】

1. 教育総務課

① 学校トイレ洋式化（名寄小）

- ・ 長年進めてきた洋式化が 令和 8 年度で全校完了。

- ・ 名寄小の和式 4 か所を洋式化。
- ・ 工事は長期休業中に実施。

② 中名寄小・屋内運動場の耐震化

- ・ 地震時の天井落下防止のため、天井撤去＋耐震補強。
- ・ 令和 8 年 5～10 月に施工。

③ 名寄中学校の大規模改築

- ・ 老朽化に伴い 校舎＋屋体を全面改築。
- ・ 令和 8 年 8 月に新校舎へ移転予定。
- ・ その後、旧校舎解体 → 跡地整備（駐車場等）。

④ 名寄東中学校の外構整備

- ・ 旧名寄産業高校跡地の校舎へ移転するため、舗装・駐車場・グラウンド整備を実施。
- ・ 令和 8 年 8 月に移転予定。

問 新校舎への引っ越し作業はどのようなスケジュールで進めるのか。 また、内覧会や事前見学の予定はあるのか。

答 ○引っ越しスケジュールについて

- ・ 新校舎の工事完了後、夏休み期間を中心に引っ越し作業を実施する予定。
- ・ 教職員による荷物整理と、業者による大型備品の移設を組み合わせる。
- ・ 児童の学習に支障が出ないよう、授業のない期間に集中して作業を行う方針。

○内覧会について

- ・ 日程は工事完了時期と引っ越し作業の進捗を見ながら決定する。
- ・ 新校舎の使用開始は、引っ越し完了後の 2 学期開始に合わせる想定。
- ・ 旧校舎の解体は速やかに行う。

2. 学校教育課

① 児童生徒数の推移

- ・ 小中学校全体で **減少傾向が継続**。（R6 小 1～中 3：1655 名→R8 年：1564 名）
- ・ 特別支援学級は横ばい～微増。

問 児童数の減少による空き教室の活用状況は。

答 各学校の裁量で活用している。

問 部活動の移動で痛ましい事故があった。本市の状況調査は。

答 聞き取り調査を行い、移動は保護者による送迎と貸し切りバス、公共交通機関であり、レンタカーのケースはなかった。北海道による通知もあり安全確保に万全を期すよう求めている。

② 校務用端末・サーバ更新

- ・ 校務支援システムのサーバが今年度でサポート終了。
- ・ サーバ更新+ネットワーク整備+端末設定を実施。

③ 部活動改革（NAYORO スタイル）

- ・ 令和 8 年 9 月から 休日の運動部活動を地域クラブへ移行。
- ・ 9 団体が地域クラブ活動を実施予定。
- ・ 国のガイドラインに基づき、認定制度を導入。
- ・ 文化部活動は関係団体と協議し環境整備。

問 該当 9 団体だが活動団体全てが該当するのか。また該当しない団体への対応は。

答 全てではなくバドミントンが該当しない。指導体制が課題であり、N スポなよと連携協議している。

④ 小中学校のあり方検討

- ・ 少子化に対応し、**適正規模・適正配置の基本方針を令和 8 年度末に策定。**
- ・ 市民委員会を設置し、地域の意見を反映。

問 当該委員会では再編や配置に踏み込むのか。

答 国である程度の学級数や学校規模、通学距離が示されておりどのような形がよいか検討したい。

⑤ 高校支援

- ・ 名寄高校の魅力向上のため、**資格取得費・教材費助成、学校運営支援**を継続。
- ・ アンケートを踏まえ、支援策を再検討。

3. 学校教育課（指導主事）

① 教育改善プロジェクト

- ・ 市内全校が参加し、教育課題に応じて 2 グループ（教育研究と教育指導）で改善活動。

② 英語教育の強化

- ・ ALT4 名、小学校英語専科 2 名を活用。
- ・ 中学校では **AI 学習アプリ**を導入。
- ・ 「名寄版 CAN-DO リスト」で到達目標を明確化。

問 CAN-DO リストの目的と考え方は。また時節による改定はあるのか。

答 学校単位で発達段階に応じた学習目標を設定していたが、市として共通の目標を設け共有しながら達成に向け取り組む。最終的には英検 3 級程度の能力を有し、名寄について自ら語れることを目指しており、発達段階に応じて改定を行う。

③ 特別支援教育

- ・ 就学前～社会参加まで切れ目ない支援体制を構築。
- ・ **中学校の通級指導教室開設に向け準備。**

④ いじめ対応

- ・ 法に基づく理解を全教職員で徹底。
- ・ 「おなやみポスト」（1人1台端末の相談メール）を活用。
- ・ 小中高合同の「いじめ防止サミット」を開催。

⑤ 不登校支援

- ・ 教育相談センター・SSW・こども未来課と連携。
- ・ 校内教育支援センターを活用し、**学習支援・生活支援・交流支援**を実施。
- ・ WEBQUで学校風土を把握し早期対応。

4. 社会教育課・公民館

① 公民館講座

- ・ 教養・健康・多世代交流など多様な講座を展開。
- ・ 講座を通じた **コミュニティ形成**を重視。

② 高齢者学級（ピヤシリ大学・瑞生大学）

- ・ 年間20～30回の講座を実施。
- ・ 年齢制限撤廃後、参加しやすい体制に。

③ 子ども交流事業

- ・ 杉並区との交流（7～8月）。
- ・ 子ども会連合会と連携した体験交流会。

④ 文化祭・生涯学習フェス

- ・ 市民文化祭（名寄・風連）を秋に開催。
- ・ 生涯学習フェスティバルは9月27日。

5. 児童センター・青少年センター・教育相談センター

① 放課後児童クラブ

- ・ 名寄・東・風連の3クラブを運営。
- ・ 民間学童への支援も継続。

② 放課後子ども教室（大幅変更）

- ・ **開催時期・場所・時間を全面見直し。**
- ・ 西小・風連中央小を会場にし、児童が帰宅せず参加できるよう改善。

③ 青少年センター

- ・ 青色回転灯パトロールを継続。
- ・ 関係機関と連携した啓発活動。

④ 教育相談センター

- ・ 不登校・友人関係・発達相談などを支援。
- ・ 教育支援センターでは学習・生活支援を実施。
- ・ 校内教育支援センターでは 個別学習・相談・交流支援・一時利用を提供。

6. 市立名寄図書館

- ・ 読書活動推進（読み聞かせ、ワークショップ）。
- ・ 移動図書館「やまゆり号」を運行。
- ・ 学校支援（団体貸出、出前授業）など年間を通じて多彩なイベントを実施。

7. 北国博物館

- ・ 調査研究・展示・文化財保護を実施。
- ・ 特別展「馬」「名寄の除雪」など青少年向け自然観察・体験活動を充実。

8. なよろ市立天文台

- ・ 特別観望会、プラネタリウム特別投影を実施。
- ・ 小中高の理科授業を支援、北大・国立天文台と連携した研究。
- ・ 企業版ふるさと納税を活用した移動天文台車の更新

9. 学校給食センター

- ・ 1 日約 1,900 食を提供。
- ・ 給食費は令和 7 年度に改定済み。
- ・ 地場産品の活用、アレルギー対応を継続。
- ・ 電気変圧器（キュービクル）を更新し安全性を確保。

10. 学校設置条例改正

- ・ 名寄東中学校の移転にともない所在地を「西 2 北 8」→「西 5 北 5」へ変更
- ・ 質疑は本会議で行う。

11. 債権放棄（給食費等）

- ・ 平成 20～26 年度の未収金（計 433,980 円）を時効により放棄。
- ・ 債権管理条例に基づき適正に処理。

12. その他

①博物館であそぼう！

- ・ 4 月 29 日からゴールデンウィーク企画を開催。名寄自動車学校の協力のもと、ミニ動物園も開催し市内外から多くの親子連れが訪れ、期間中 1,653 名の入場があった。

②きたすばるピリカ week!

- ・ 4 月 29 日からピリカ望遠鏡を一般開放し、観望会を行った。あいにくの天候であったが夜間開催に 185 名の観望があった。

以上 概要を報告する。

報告者 厚生文教常任委員会 副委員長 今村 芳彦